

アシクロビル点滴静注用 250mg 「サワイ」

【この薬は？】

販売名	アシクロビル点滴静注用 250mg 「サワイ」 Aciclovir for i.v. infusion 250mg 「SAWAI」
一般名	アシクロビル Aciclovir
含有量 (1バイアル中)	250mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、単純ヘルペスウイルスあるいは水痘・帯状疱疹ウイルスのDNAの複製を阻害してウイルスの増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**単純ヘルペスウイルス及び水痘・帯状疱疹ウイルスに起因する下記感染症
免疫機能の低下した患者（悪性腫瘍・自己免疫疾患など）に発症した単純
疱疹・水痘・帯状疱疹
脳炎・髄膜炎
新生児単純ヘルペスウイルス感染症**

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にアシクロビル点滴静注用「サワイ」に含まれる成分あるいはバラシクロビル塩酸塩で過敏な反応を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

使用量、使用回数などは、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

特に腎臓に障害のある人や高齢の人は慎重に使用する量と回数が決められます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・脱水症状になりやすい人（腎臓に障害のある人や高齢の人など）では、この薬の血中濃度が高く持続すると副作用があらわれやすくなるため、水分の補給を十分に行ってください。
- ・意識障害（気を失う、もうろう状態）などがあらわれるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合には、十分に注意してください。腎臓に障害のある人では、特に意識障害などがあらわれやすいので、状態によっては、医師が自動車の運転などをしないように判断する場合があります。
- ・腎臓に障害のある人や高齢の人は、特に精神神経症状や腎機能障害があらわれやすいので、症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシーショック、アナフィラキシー（呼吸困難、血管浮腫等） （こきゅうこんなん、けっかんふしゅうとう）	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、顔面蒼白、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下、まぶたのはれ、唇のはれ、舌のはれ
汎血球減少 はんけっきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
播種性血管内凝固症候群（DIC） はしゅせいけっかんないぎょうこしょうこうぐん（ディーアイシー）	めまい、頭痛、鼻血、白目が黄色くなる、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、紫色のあざ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
血小板減少性紫斑病 けっしょうばんげんしょうせいしはんびょう	鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはればつたい、息苦しい、尿がない、尿量が減る
精神神経症状 せいしんしんけいしょうじょう	意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下、意識がなくなる、意識が乱れる、意識の混乱、根拠のない思い込み、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、非現実的なことを強く確信する、けいれん、筋肉のつっぱりやけいれん、発作前の記憶がない、言葉が出ない、手足が動かない、物忘れ
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（テン）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（ステーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
呼吸抑制 こきゅうよくせい	息苦しい、息切れ
無呼吸 むこきゅう	呼吸が10秒以上とまった状態

重大な副作用	主な自覚症状
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
肝炎 かんえん	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、皮膚が黄色くなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
急性膵炎 きゅうせいすいえん	発熱、吐き気、嘔吐、急に激しくおなかが痛む、急に激しく腰や背中が痛む

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、からだのむくみ、けいれん、ふらつき、関節の痛み、高熱、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、疲れやすい
頭部	めまい、意識がなくなる、意識が乱れる、意識の混乱、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛
顔面	ほてり、顔面蒼白、鼻血
眼	まぶたのはれ、まぶたや眼の充血、眼がはれぼったい、眼と口唇のまわりのはれ、結膜のただれ、白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	から咳、しゃがれ声、のどの痛み、ひどい口内炎、眼と口唇のまわりのはれ、言葉が出ない、歯ぐきの出血、唇のはれ、唇や口内のただれ、舌のはれ、吐き気、嘔吐
胸部	呼吸が10秒以上とまった状態、息苦しい、息切れ、吐き気、動悸
腹部	急に激しくおなかが痛む、食欲不振、吐き気
背中	急に激しく腰や背中が痛む
手・足	関節の痛み、手足が動かない
皮膚	あおあざができる、かゆみ、じんましん、紫色のあざ、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、皮下出血、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉のつっぱりやけいれん
尿	尿がでない、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、尿量が減る
その他	陰部の痛み、根拠のない思い込み、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、出血が止まりにくい、出血しやすい、発作前の記憶がない、判断力の低下、非現実的なことを強く確信する、物忘れ

【この薬の形は？】

性状	白色～微黄白色の軽質の塊または粉末 バイアル製剤
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	アシクロビル
添加物	pH 調節剤

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：沢井製薬株式会社 (<http://www.sawai.co.jp>)
お客様相談室
電話番号：0120-373-381
受付時間：9時～17時
(土、日、祝日、その他当社休業日を除く)